

いじめについて考える

9

居心地のよいクラスについて考えよう

1 ねらい

クラスの中で起きたことについて、当事者や周りの人など、それぞれの立場の人の気持ちを考えることを通して、いじめを受けた生徒の気持ちに寄り添ったり、いじめについて客観的に考えたりし、いじめについての正しい判断力を養う。

2 準備するもの

○ワークシート

3 解説

学校生活においては、子どもたちがよさを認め合い、助け合いながらお互いを高めていくことのできる関係づくりが理想です。しかし、現実を目を向けると「意見が合わない」ことによるいさかいから、「異質なものを排除しようとする差別意識」によるいじめまで、様々な場面でのトラブルやいじめは後を絶ちません。

「いじめ」は、特定のクラスや集団などにおいてのみ発生するものではなく、集団で生活する以上、どこでも起き、誰もが被害者または加害者になる可能性があります。

そのような「いじめ」を解決していくためには、いじめの発生を防ぐ「予防」と、発生しているいじめを止める「対処」が必要となります。

このワークには、遊んでいるように見える二人と、それを笑いながら見ている人、無関心な人が登場します。二人の行為は「いじめ」のように見えますが、いじめられている本人は、ただ遊んでいるだけだと主張しています。

この場面を読んで、子どもたちが客観的な立場で仲間と一緒に考え、様々な意見を出し合うことで、身近な人権課題である「いじめ」について理解を深め、予防と対処の両側面から考える機会とします。

4 進め方（展開例）50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項
導入 5分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れの説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（3分）</p> <p>「ほめ合い自己紹介」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①グループで順番を決め、最初の人自分の好きなものや得意なことを言う。 ②他の人は順に最初の人をほめる。 ③全員がほめたら、お礼を言い、次の人に交代する。 ④全員が①～③を行う。 ⑤グループで活動の感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4人程度のグループで行う。 ・アクティビティも含め、他の人の回答に対して共感的に受け止めるように声をかけ、肯定的でない言動があった場合は、毅然とした対応をする。
	<p>・他の人から認められたりほめられたりすると、自分のよさに気づくことができると感じる。</p>	

<p>展開 40分</p>	<p>◆アクティビティ (40分) 「居心地のよいクラスについて考えよう」</p> <p>①場面の状況を聞く。</p> <p>②このクラスの課題について考え、ワークシートに書く。</p> <p>③誰もが居心地のよいクラスにするためにはどうしたらよいか考え、ワークシートに書く。</p> <p>④②③について、グループで意見交換をし、気づいたことや考えたことをワークシートに書く。</p> <p>⑤④について、全体に発表し共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 記入の段階では授業者が生徒に働きかけないようにする。 • 誰もが=すべての人が居心地がよいという点を意識するよう促す。 • 必要に応じて「別に。僕たちただ遊んでいるだけだから・・・」というAさんの発言や、「大丈夫？」と声をかけたDさん、無関心でいるEさんの心情についても取り上げるようにする。 • 「いじめ」と捉えているグループにその理由を聞いたり、登場人物それぞれがどう行動すべきかを全体で考えたりして、共有する。
<p>まとめ 5分</p>	<p>◆まとめ (5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> • まとめの話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> • 授業を通して生徒から出された意見などをもとに、ねらいをおさえまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> • Bさんの行動はいじめであるか、そうでないかについて考えることが大切である。 • Aさんはいじめではないと言っているが、素直に気持ちを話していないかもしれないことに気づく。 • もし、Aさんが本心でいじめではないと思っていたとしても、Aさんの気持ちに関わらず、Aさんは尊重されていないことに気づく。 • ある行為がいじめであるかどうかは、当事者の意識はもとより、行為の客観的な中身についても考える必要があることに気づく。 • 無関心でいる人は、被害者からみると加害者になるという点について確認する。 </div>

居心地のよいクラスについて考えよう

()年 ()組 名前 ()

これから紹介する場面を通して、誰もが居心地のよいクラスにするためにはどうしたらよいか、考えてみましょう。

ある日の昼休み、AさんとBさんがふざけながら教室に入ってきました。

Bさん (Aさんの頭をたたきながら)
「さっきの授業、あんな簡単な問題なのに答えられないの？」

Aさん 「えへへ。」

CさんとDさんは、いつもの二人のやりとりを笑いながら見ていました。

BさんはAさんの頭をたたきながら、なおもからかっています。Aさんは笑って応じながらお弁当箱を出しました。

Bさん 「おっ、今日の弁当も豪華だな。ソーセージくれよ。」

BさんはAさんの弁当箱から勝手にソーセージを取り、食べてしまいました。

Bさん 「そっちの卵焼きもオレ様に食べられたがってるぜ！しょうがないから、食べてやるよ！」

それを見ていたCさんは、大きな声で笑い出しました。それにつられて周りにいた人たちもクスクス笑っています。

Bさんは次々とAさんの弁当のおかずを食べたあげく、後ろの席で読書をしていたEさんに話しかけました。

Bさん 「おまえも食べたいだろ？味は保証しないけどな。」

Eさんは迷惑そうに顔をあげましたが、すぐにまた本を読み始めました。

Bさん 「ちえっ、うまくないから、Eは食べたくないってよ！」

そう言って、Bさんはどこかへ行ってしまいました。

この様子を見ていたDさんは、Aさんがかわいそうになり、Aさんに声をかけました。

Dさん 「Aさん大丈夫？」

Aさん 「別に。僕たち、ただ遊んでいるだけだから・・・」

Aさんはそう答えました。

1 この場面の課題は何だと思いますか。あなたの意見を書きましょう。

2 このクラスを、誰もが居心地のよいクラスにするためにはどうすればよいと思いますか。あなたの意見を書きましょう。

3 1、2についてグループで意見交換をし、気づいたことや考えたことを書きましょう。